



全国大会で3位入賞
を果たした熊谷さん

大仙市の大曲工業高校機械科3年の熊谷雅也さんが、1月10、11日に北海道で開催された「ジャパンマイコンカーラリー2026全国大会」のベーシック部門で3位に入賞した。全国大会は地区予選を通過した76人が出場。熊谷さんは「頑張ってきた結果を残せてうれしい。協力してくれた家族や学校への恩返しになった」と喜ぶ。

マイコンカーラリー大会

マイコンカーラリーは、高校生が自作したロボットカーでタイムを競う。ロボットカーには生徒自身がプログラムを作ったマイクロコンピュータを搭載しており、プログラムに従いコンピュータがコースを読み取って、速度やハンドルを自動制御しながら走行する。

熊谷さんは、3年生から始まる「課題研究」でマイコンカーラリーに出場する授業を選択し、昨年4月から準備を進めてきた。一番やりがいを感じたのはプログラムの工程だという。

自作プログラム奏功

コースは大会当日に明かされるため、坂道や急カーブなどさまざまな想定で試走し、ハンドルの角度やモーターの出力を調節。生徒同士で動画を撮り合い精度を高めた。

「地道な作業を繰り返して大変だったけれど、自分がプログラムした通りに動いてくれるのが面白かった」と語る。

当日、発表されたコースは全長67分で、短い区間に緩急があり、脱輪する出場者も多かったという。熊谷さんは、決勝トーナメントで今大会の優勝者と対戦し敗れたものの、3位入賞。「スピードよりも安定性を重視してプログラムを作ったのが良かったと思う」と振り返る。

卒業後は、日立製作所への就職が決まっている。「学校で学んだものづくりへの向き合い方や、みんなと協力して作業した経験を生かして、成長したい」と話した。

(針金友理子)